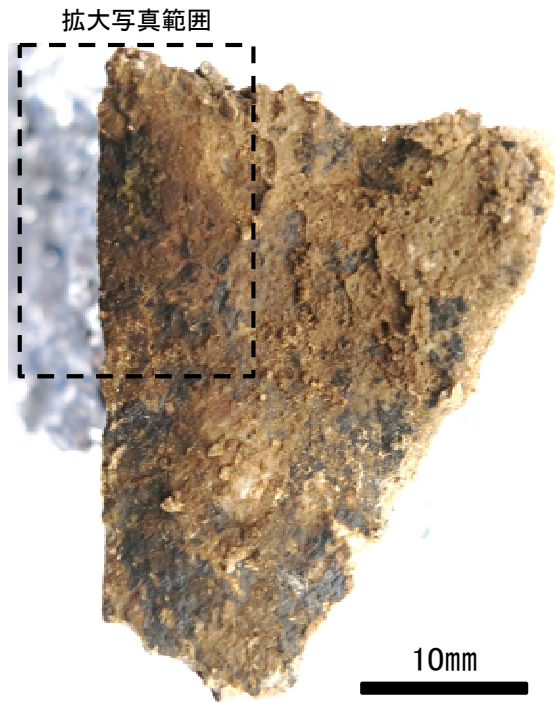
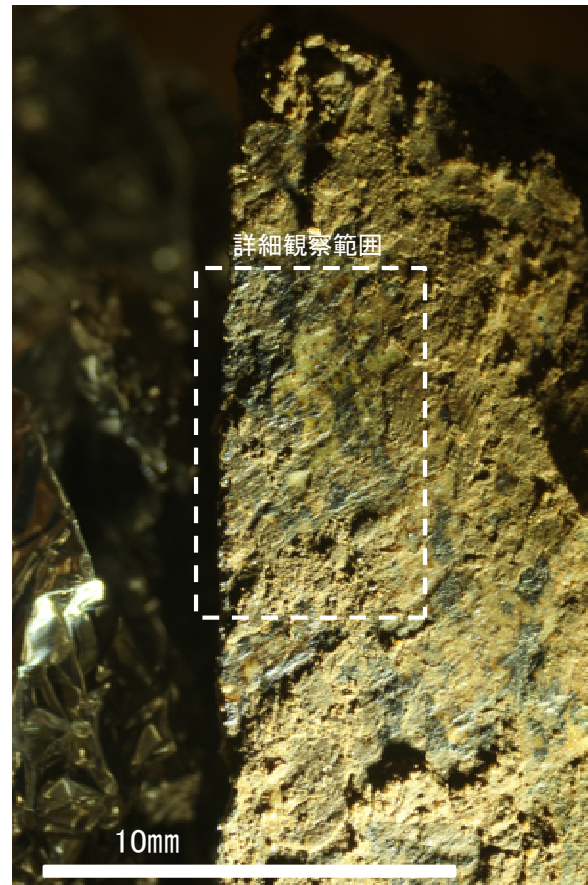


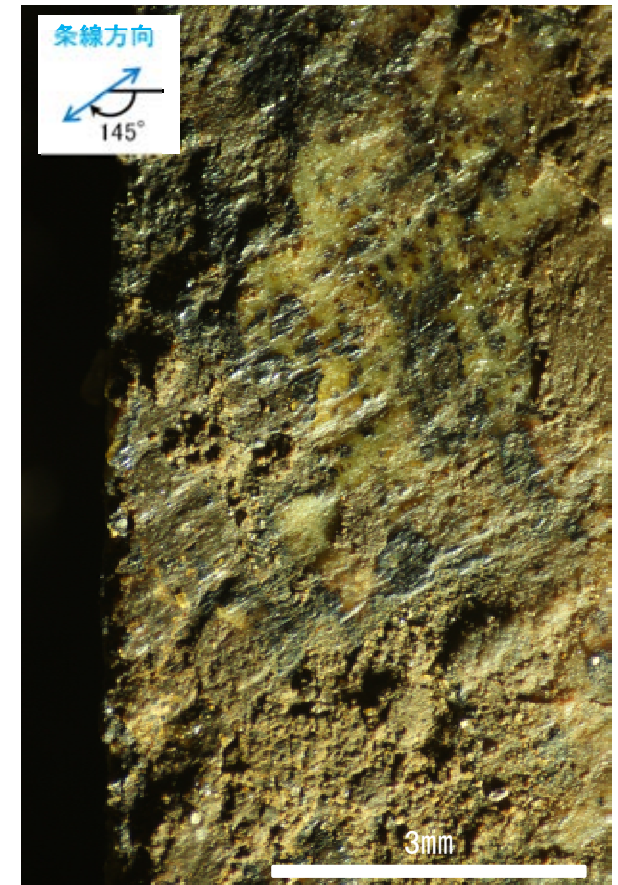
概念図
※走向は真北で示す。



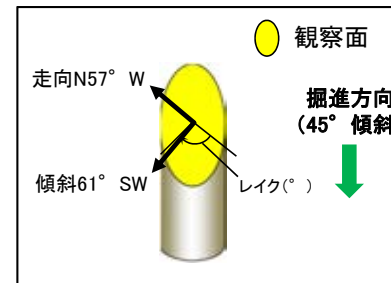
観察面写真



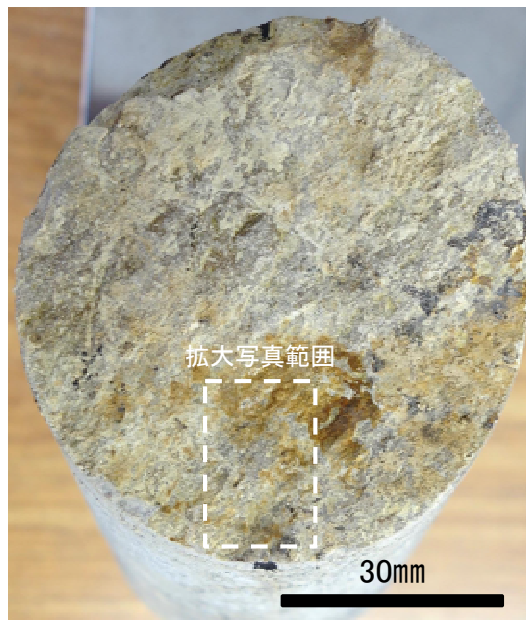
観察面拡大写真



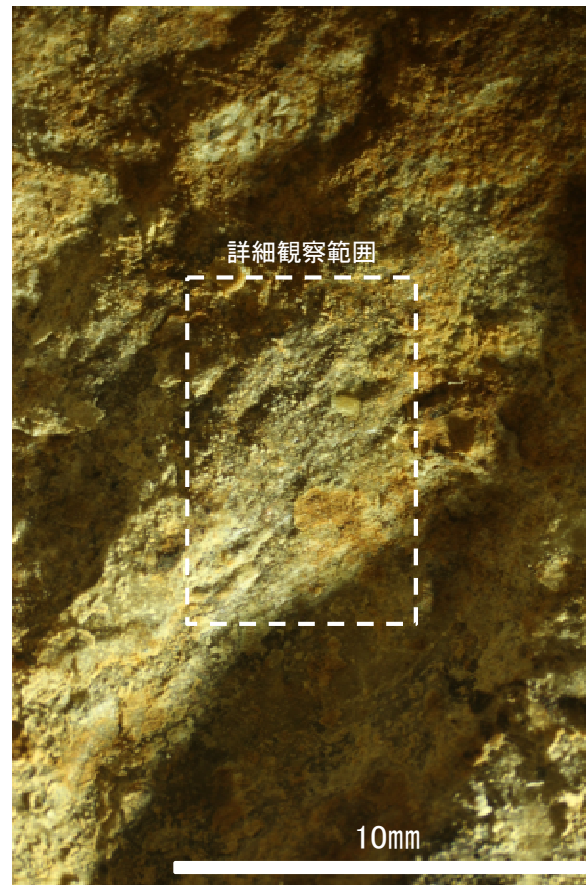
詳細観察写真



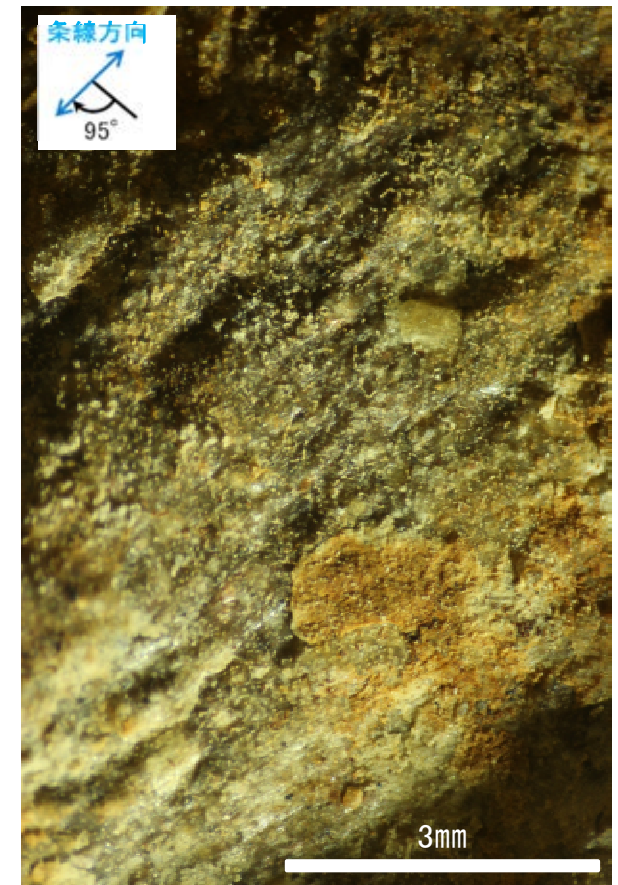
概念図
※走向は真北で示す。



観察面写真

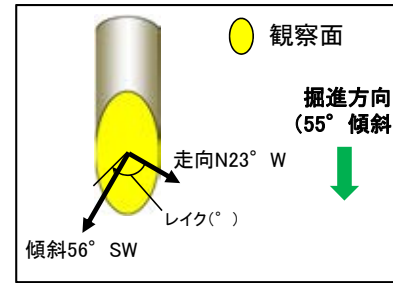


観察面拡大写真



詳細観察写真

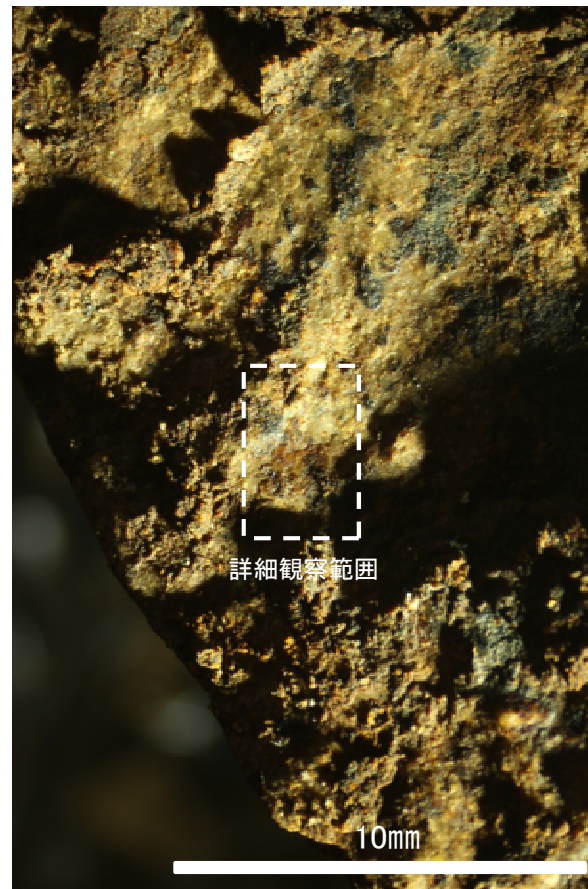
・条線のレイクは95° R, 変位センスは不明



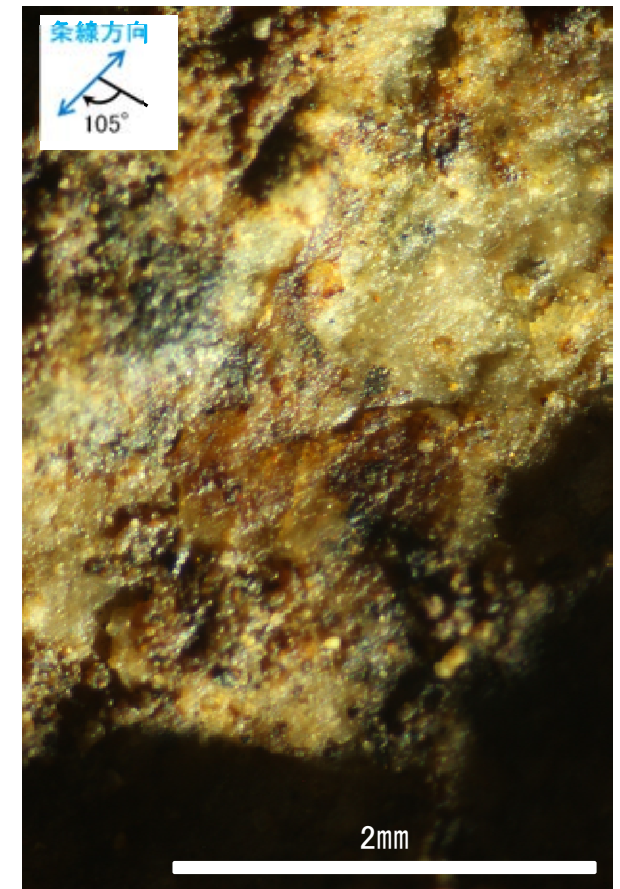
概念図
※走向は真北で示す。



観察面写真



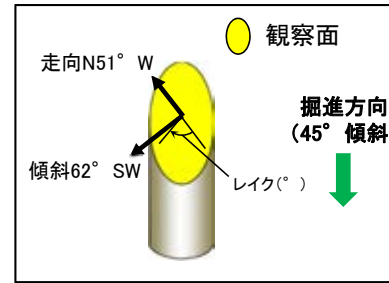
観察面拡大写真



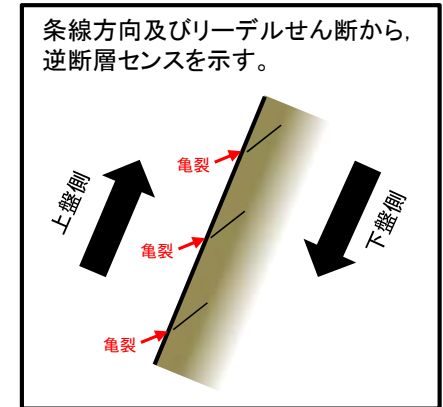
詳細観察写真

・条線のレイクは75° R(下盤側換算), 変位センスは不明

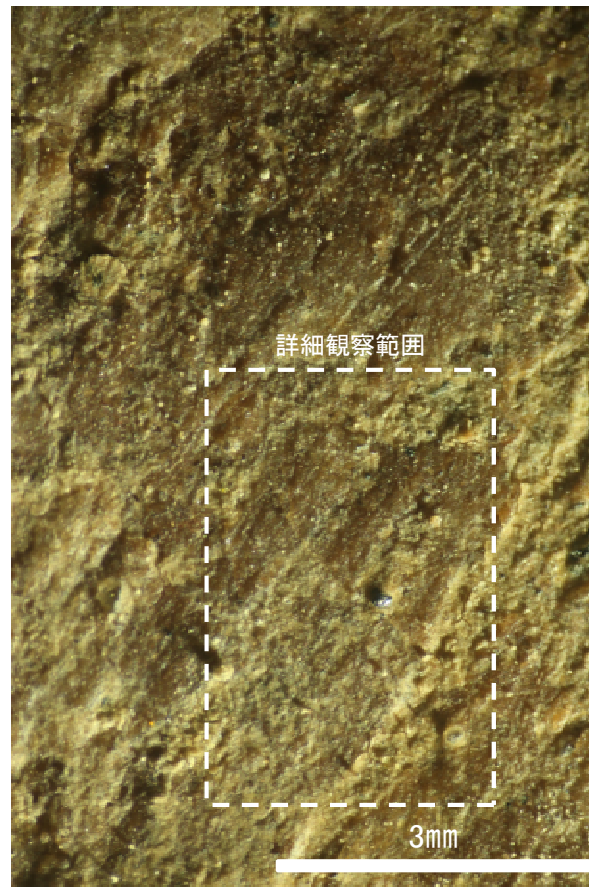
条線観察結果 ボーリングH-5.5-1孔[深度20.90m](下盤側)①



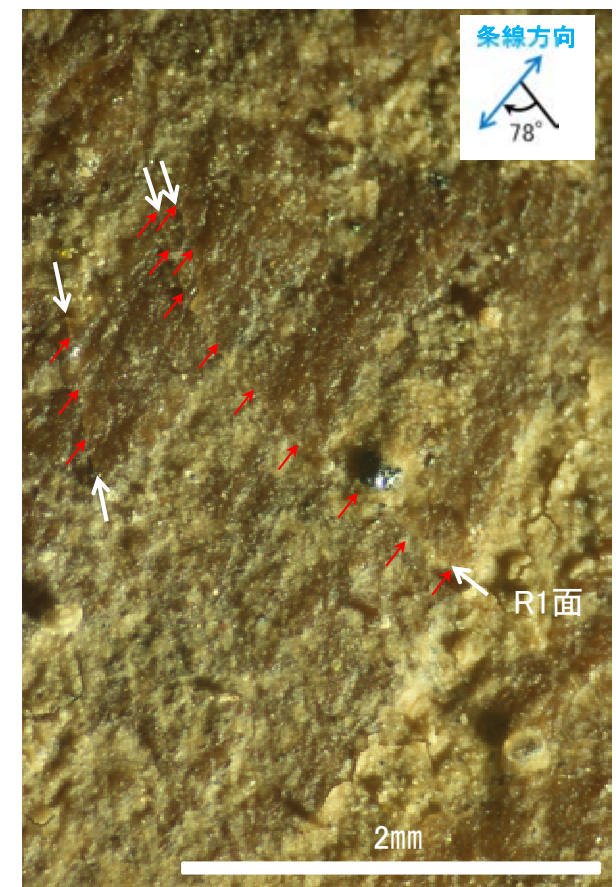
概念図
※走向は真北で示す。



観察面写真

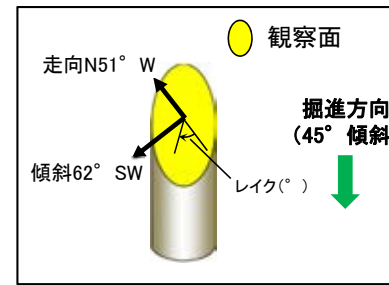


観察面拡大写真



詳細観察写真

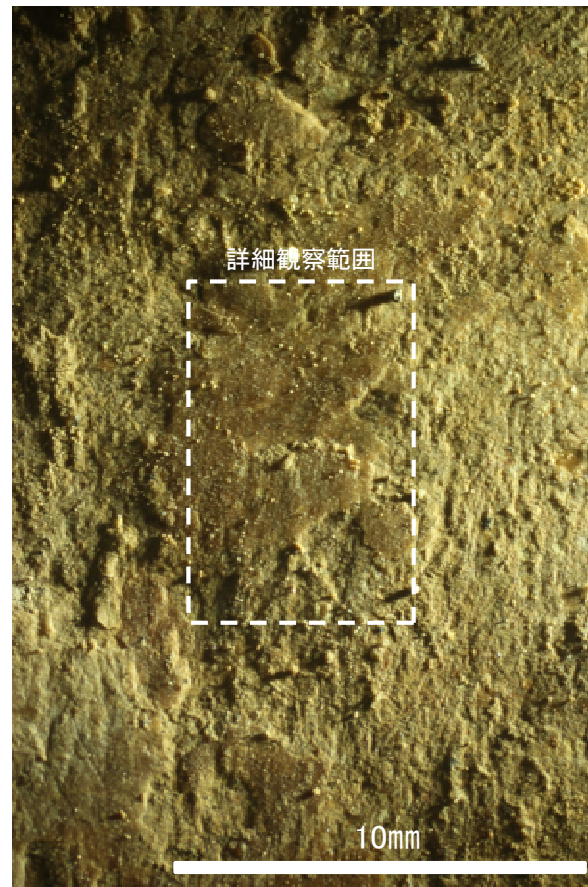
・条線のレイクは78° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス



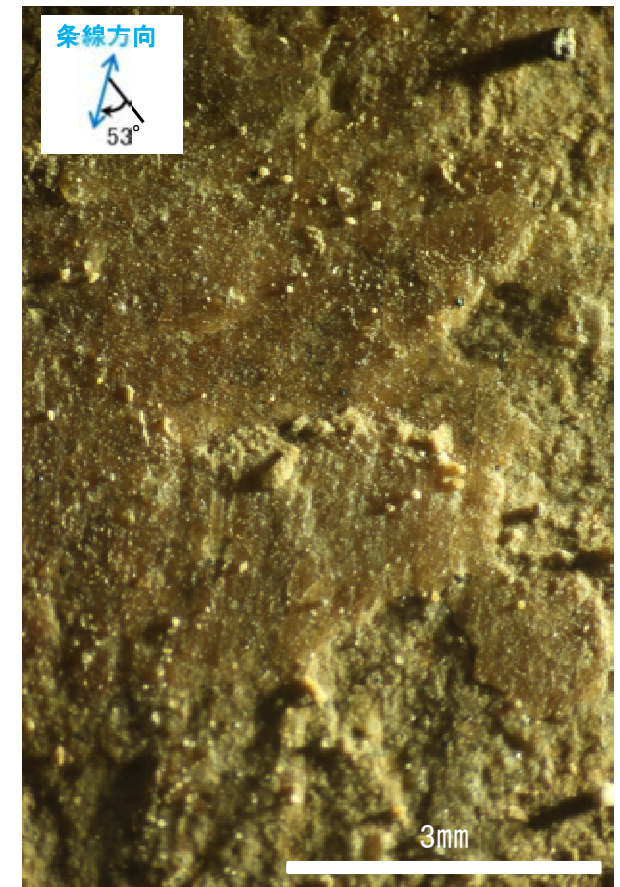
概念図
※走向は真北で示す。



観察面写真



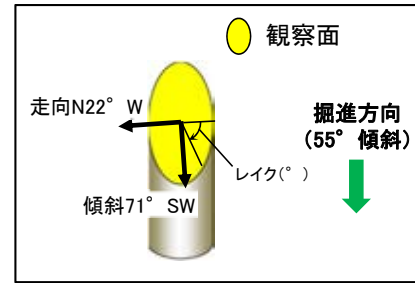
観察面拡大写真



詳細観察写真

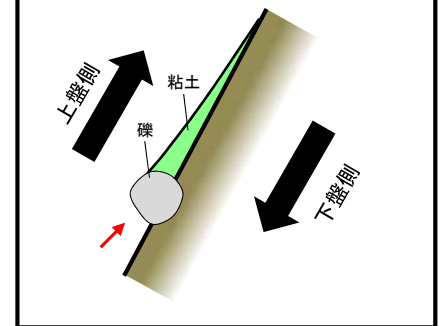
・条線のレイクは53° R, 変位センスは不明

条線観察結果 ボーリングH-5.5-3孔[深度19.85m](下盤側)①

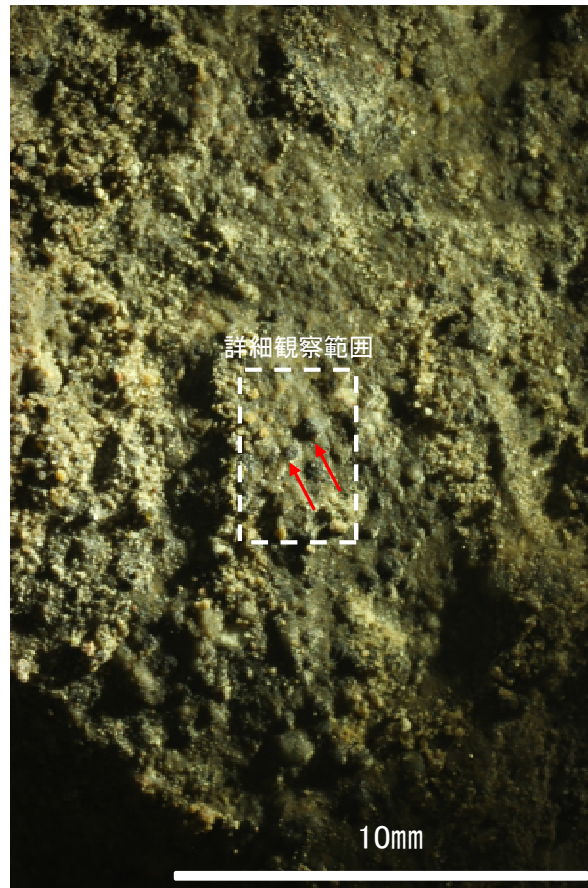


概念図
※走向は真北で示す。

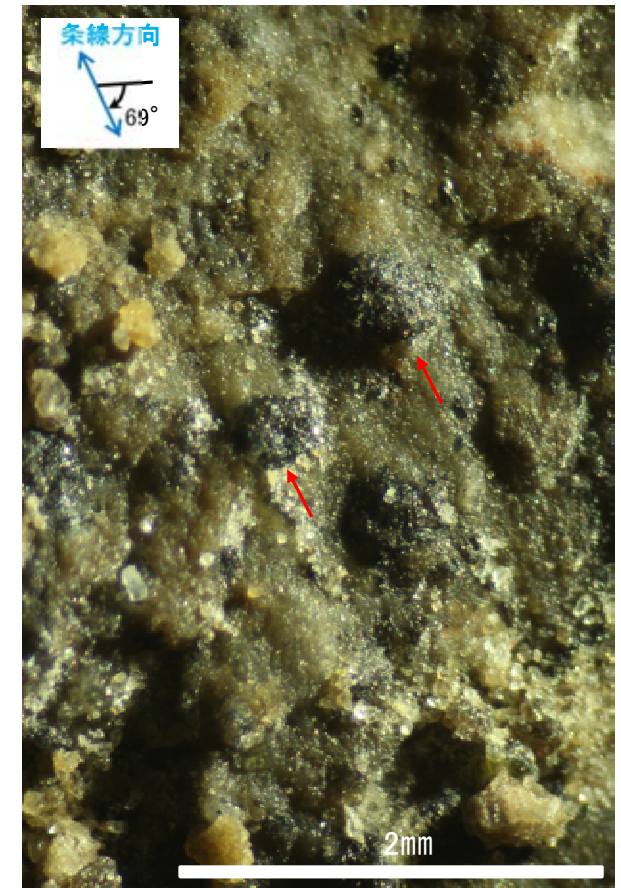
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



観察面写真

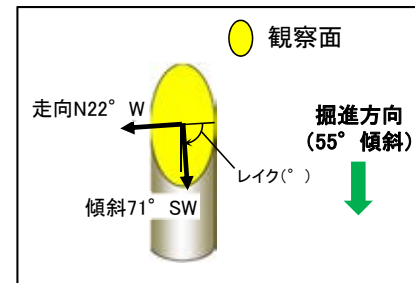


観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは69° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

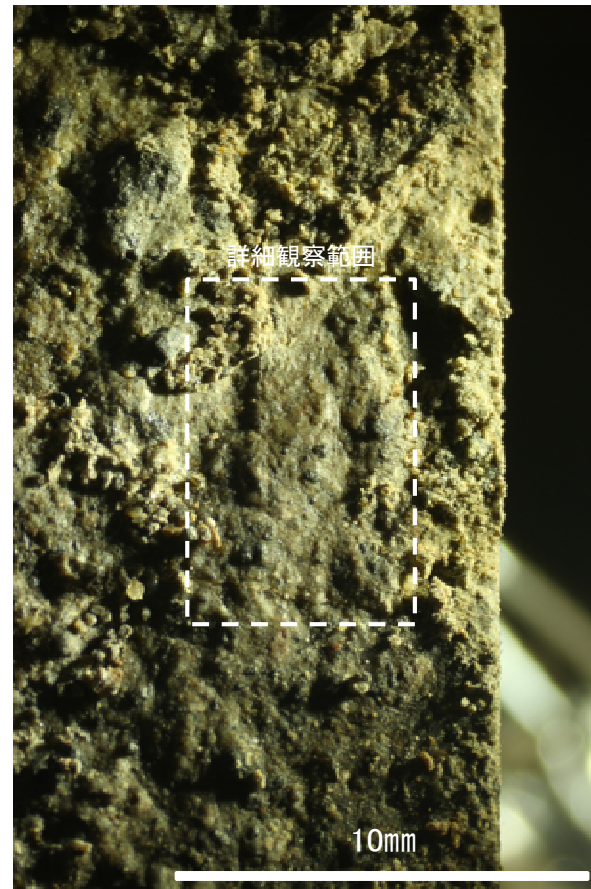


概念図

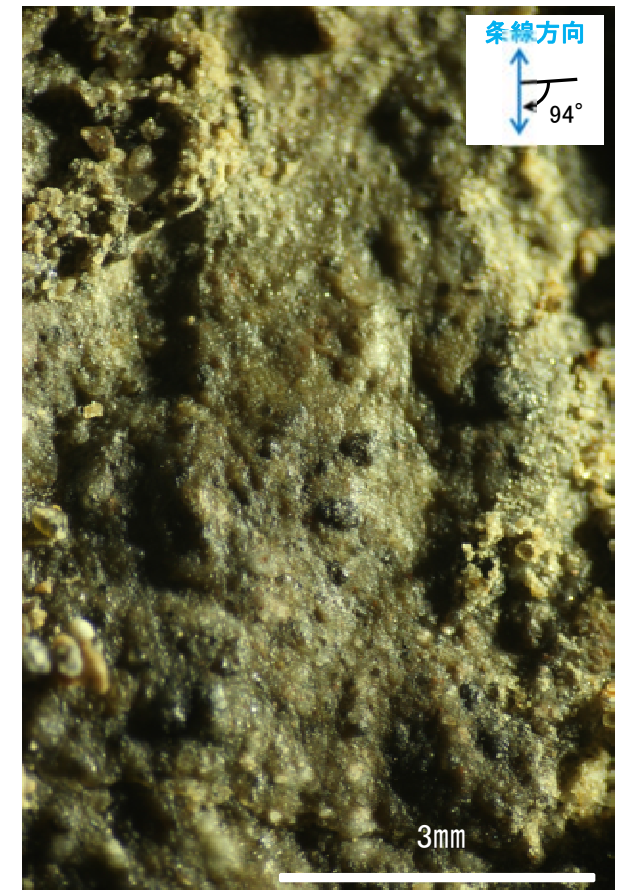
※走向は真北で示す。



観察面写真

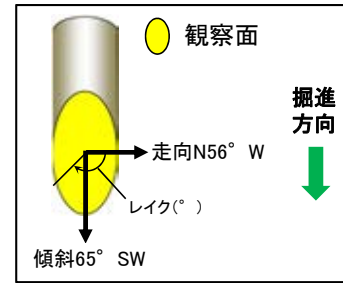


観察面拡大写真



詳細観察写真

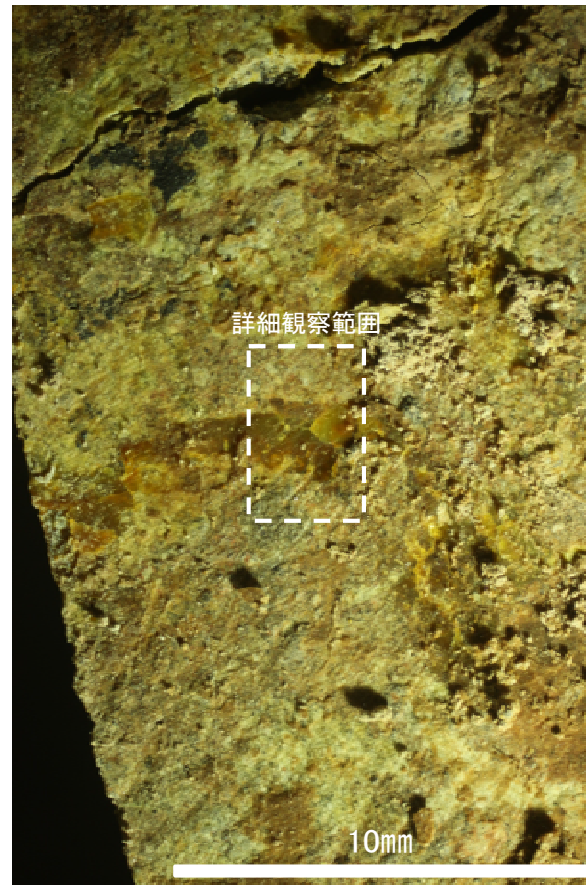
・条線のレイクは94° R, 変位センスは不明



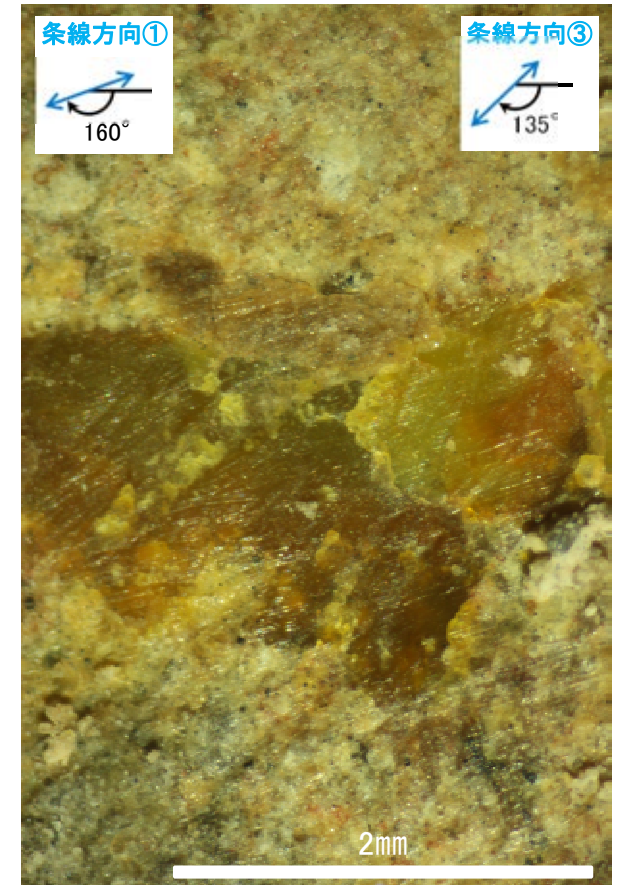
概念図
※走向は真北で示す。



観察面写真

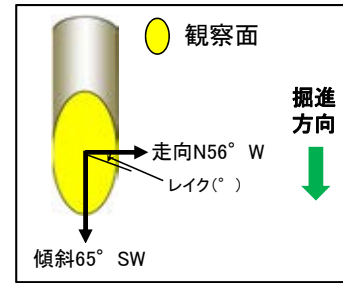


観察面拡大写真



詳細観察写真

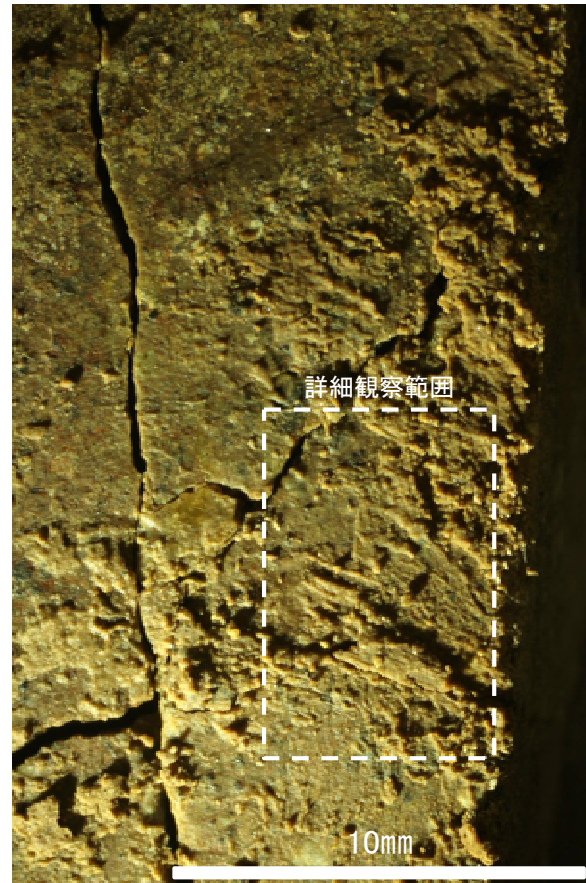
・条線のレイクは20° R(下盤側換算), 45° R(下盤側換算), それぞれ変位センスは不明



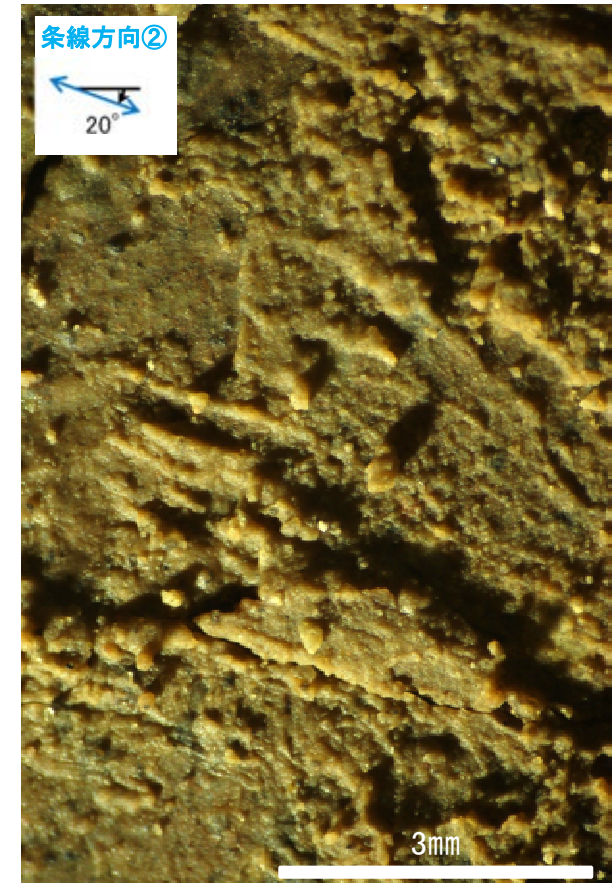
概念図
※走向は真北で示す。



観察面写真



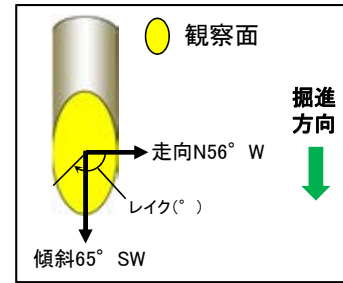
観察面拡大写真



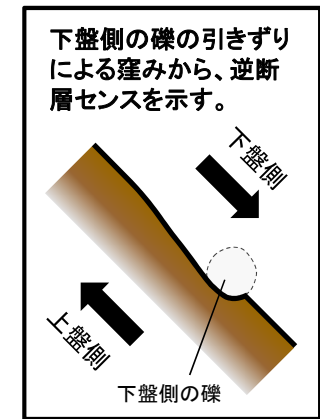
詳細観察写真

・条線のレイクは 160° R(下盤側換算), 変位センスは不明

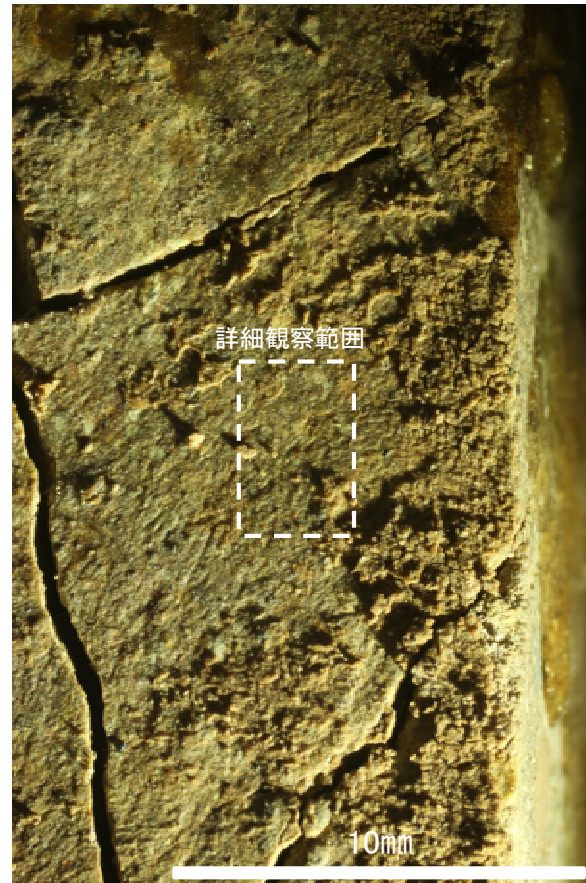
条線観察結果 ボーリングH-5.7孔[深度13.20m](上盤側)③



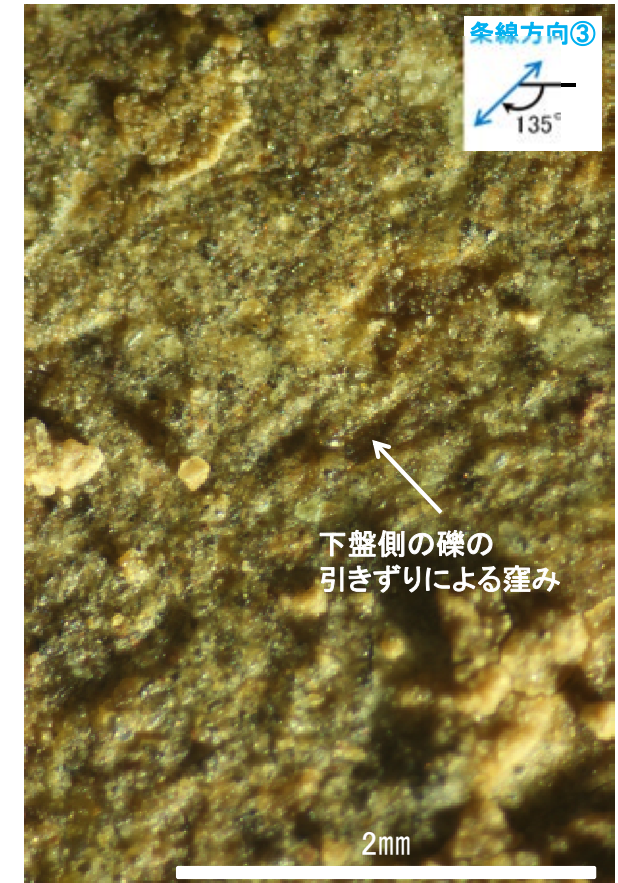
概念図
※走向は真北で示す。



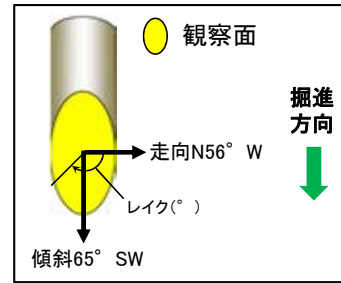
観察面写真



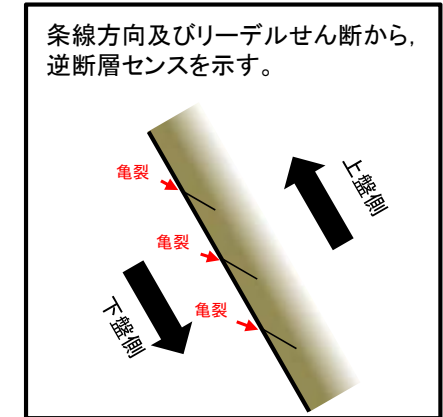
観察面拡大写真



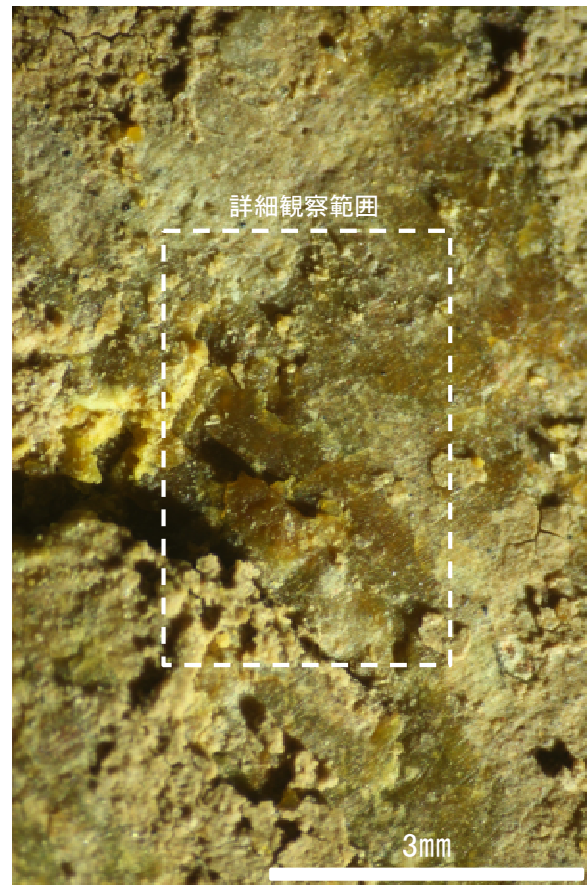
詳細観察写真



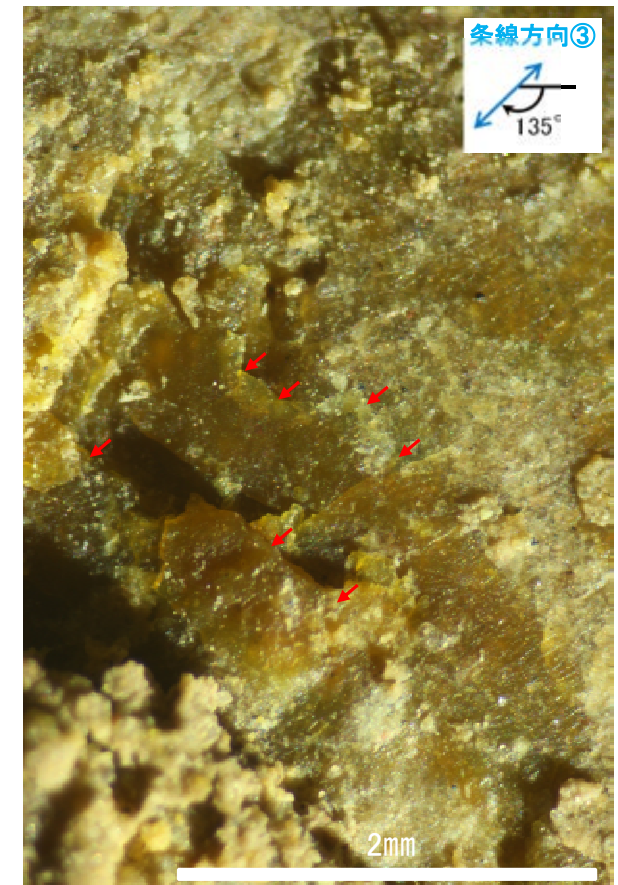
概念図
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

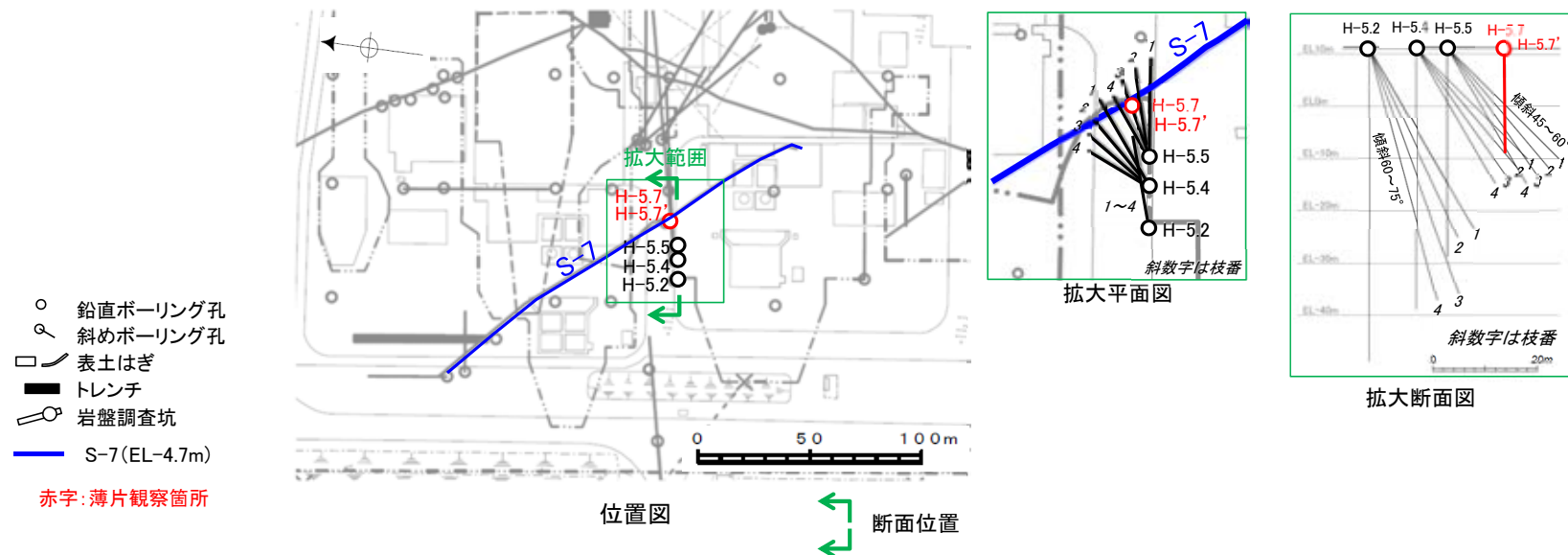


詳細観察写真

・条線のレイクは45° R (下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス

薄片番号	変位センス
H-5.7_20R	不明
H-5.7'_20R	不明

* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



■ 条線観察結果を踏まえ、20° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)
H-5.7孔 (深度13.20m)	<p>(単ニコル) 上</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下 上 下 上</p> <p>1cm</p>	<p>(単ニコル) 上</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下 上 下 上</p> <p>1mm</p>
	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下 上 下 上</p> <p>1cm</p>	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下 上 下 上</p> <p>1mm</p>

・固結した破砕部、粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

■ 条線観察結果を踏まえ、20° Rのレイクでポーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
H-5.7' 孔 (深度14.32m)	(単ニコル)			(単ニコル)		
	(直交ニコル)			(直交ニコル)		

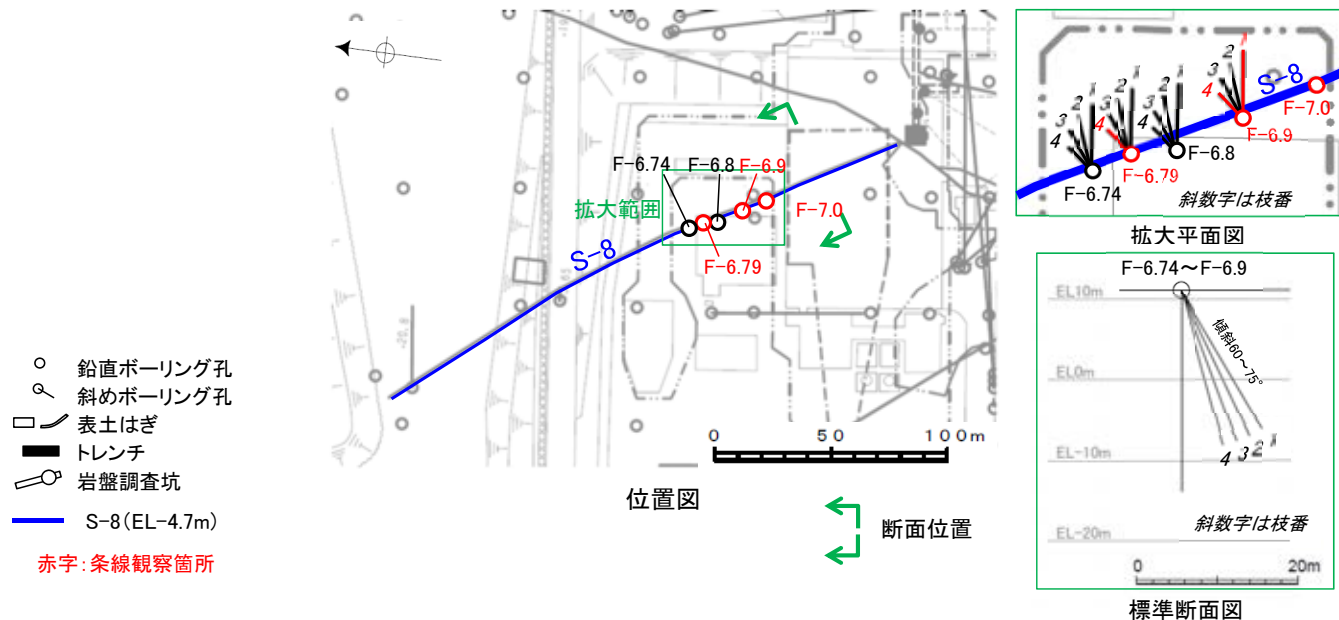
・固結した破砕部、粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

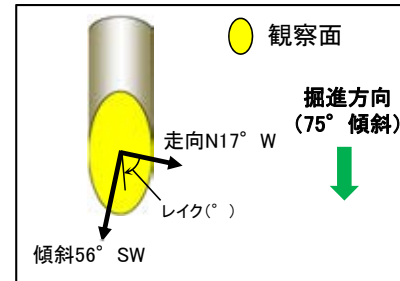
(7) S-8の運動方向調査結果

S-8の条線観察結果

試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※1	変位センス
ボーリングF-6.79-4孔 [深度17.65m]	上盤側	N17° W/56° SW	107° R	(不明)
ボーリングF-6.9孔 [深度19.15m]	下盤側	N3° E/48° NW	135° R	左横ずれ逆断層
ボーリングF-6.9-1孔 [深度14.65m]	上盤側	N3° W/51° SW	74° R	(不明)
ボーリング F-6.9-4孔 [深度17.05m]	上盤側	N7° W/59° SW	84° R	(不明)
ボーリングF-7.0孔 [深度16.09m]	下盤側	N10° W/48° SW	70° R	(不明)
			25° R	(不明)

※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。

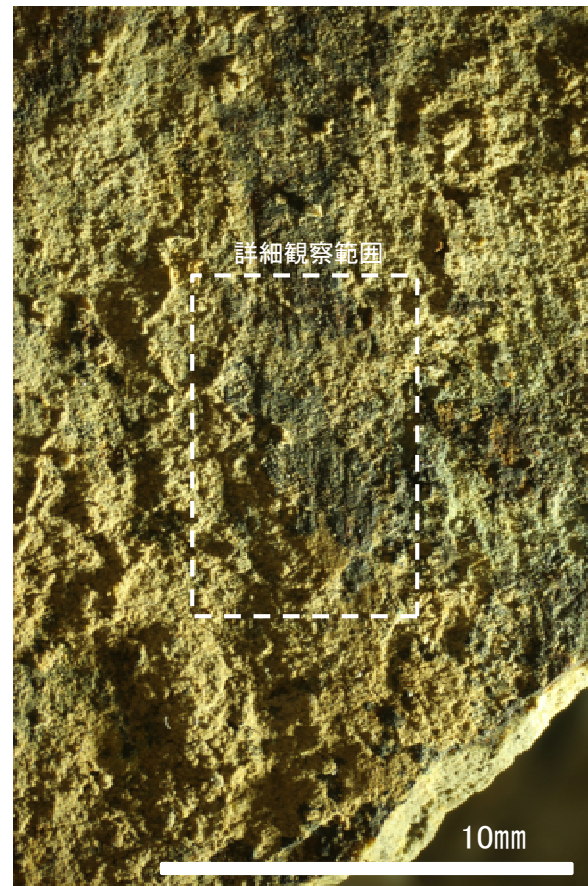




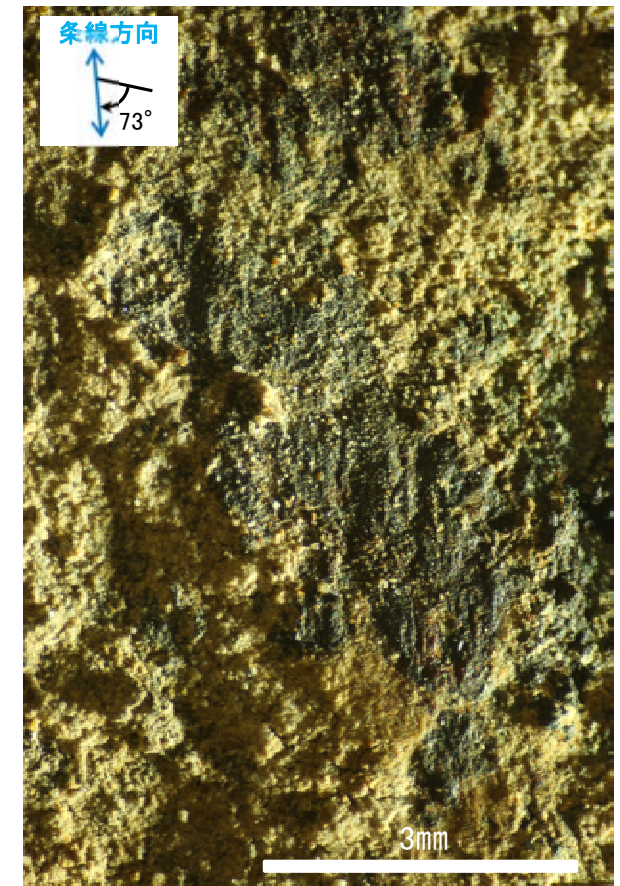
概念図
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは107° R(下盤側換算), 変位センスは不明